



## 東京の会通信

No.260

2015年5月1日号  
(隔月1日発行)

発行：公的骨髄バンクを  
支援する東京の会  
〒162-0065 東京都新宿区  
住吉町10-8 第1菊池ビル302号  
TEL：03-3354-6377  
(FAX兼用)



<http://www.marrow.or.jp/tokyo/>  
e-mail:marrow\_tokyo@yahoo.co.jp

定価 100 円

# 東京都、ドナー支援事業を4月より開始 東京の会の都議会請願が実現

公的骨髄バンクを支援する東京の会(以下東京の会)は、骨髄移植ドナーへの支援制度の策定を求めて、昨年9月26日に、以下の三点について都議会への請願を行い、12月25日、都議会本会議において、全会一致で採択されました。

- 1.ドナーとして造血幹細胞提供に伴う入院、通院、打ち合わせのため休業する場合の休業補償制度の創設を国に要望すること。
- 2.従業員がドナーとして造血幹細胞提供のため入院、通院、打ち合わせに必要な休業を付与できるよう、労働関係法令の改正を国に要望すること。
- 3.都内区市町村が骨髄移植ドナーへの支援制度を創設した場合、都として支援すること。

請願の採択を受けた東京都としての対応について、今年3月20日、都疾病対策課より東京の会に対して、「休業補償制度の創設と、労働関係法令改正を厚労省に要望した。ドナー支援事業については、平成27年度の医療保健政策区市町村包括補助事業として位置付けた」との説明がありました。

具体的には、都内区市町村が行う「骨髄移植ドナー支援事業」に対して、東京都が補助する制度が本年4月から開始されます。補助額はドナーについて1日2万円、ドナーになった方が所属する事業所について

1日1万円、日数は通算7日(いずれも上限)です。ドナーの健康診断、自己血貯血、骨髄または末梢血採取、その他骨髄バンクが必要と認める通院・入院・面接が対象となります。

東京の会は、請願が全会一致で採択されたことを受けて、2月の段階より、東京特別区長会・東京市長会・東京町村会に対して、各区市町村が4月より制度を策定し実施するよう要請しました。しかしすでに27年度予算の確定期に入っていたため、区市町村が制度を策定するのは27年度以降に持ち越しとなり、平成27年度の都の助成対象は以前から支援制度を実施している稲城市のみとなる見込みです。

東京の会が昨年4月より取り組みを開始して実現までちょうど1年が経過しました。7月から9月までの季節的に一番暑い時期に、都議会に何回も足を運び、支援を訴えたり、予算に関する要望などで要請行動を繰り返して行ったことが今回の実現につながりました。

今後の課題としては、当面、全区市町村で、稲城市が実施しているような骨髄移植ドナーへの支援制度の策定がされるよう見守っていくとともに、国に対しても、法改正にとどまらず、支援制度の策定を要望していく必要があります。東京の会の皆さん、お疲れ様でした。今後とも、継続して活動してまいりましょう。

(代表 三瓶和義)

## 今年の東京の会定期総会は6月27日です

東京の会の1年間の活動報告と活動方針を確認する定期総会を、6月27日(土)午後1時から、西新宿の全労済東京会館で開催します。会員の皆さま、ぜひ参加をお願いします

また、総会後は、記念講演会を開催する予定です。参加費は無料で、どなたでも参加できます。詳細が確定しましたら東京の会のホームページ等でお知らせ

ますので、お声を掛け合ってください。

日時：2015年6月27日(土)13:00開会

場所：全労済東京会館3階会議室

内容：13:00～13:45 東京の会第26回総会

14:00～16:30 記念講演会(内容未定)

17:00～ 交流懇親会

# 2014年度の登録者数はジャスト100名

## 献血ルームドナーリクルート活動

東京の会では東京の地の利を生かして、骨髄バンクの広報とドナーリクルート活動を展開しようと、2002年度から、東京のど真ん中、有楽町外堀通りの日本基督教団銀座教会の会議室をお借りして集団登録会を開催し、2010年春まで続けてきました。当初は多数の登録者の応募を得たのですが、2009年から登録者が急激に減少し、2010年になっても同様の傾向が続いたため、2011年度から方向転換をすることになりました。

新しい活動として、東京都赤十字血液センターに協力を要請し、都内の赤十字献血ルームで献血と骨髄バンクドナーリクルート活動をおこなってきました。これまで4年間の実績を見ると次のとおりです。

2011年度	開催回数	8回	登録者数	115名
2012年度	開催回数	7回	登録者数	99名
2013年度	開催回数	6回	登録者数	108名
2014年度	開催回数	6回	登録者数	100名

ちなみに銀座教会9年間9回の登録者実績は159名、献血ルーム4年間27回の実績は422名で1回あたりの登録者数は銀座教会17.6名、献血ルームは1回あたり15.6名となります。

ドナー登録者数が45万人（2015年2月末現在）を超え、HLA適合率は約95%となっていますが、提供率は60%を前後しており、提供に当たってのドナーの安全確保と負担軽減、休業取得のための社会環境等の整備向上の必要性が増えています。また、骨髄バンクドナー登録者数を維持するために、提供上限年齢まで長期間の登録が期待できる若年者のドナー登録者、特に20歳代の登録を推進していく必要があります。

2015年度も新宿東口と有楽町献血ルームを中心に献血ルームでの献血・骨髄バンクドナーリクルート活動を推進していきたいと考えています。（新田恭平）

## 「3・11復興支援チャリティーイベント」に今年も参加

3月8日の日曜日午前10時30分から、新宿中央公園にて今年で4回目の東日本大震災復興支援イベントが行われました。主催は西新宿角三町会、共催は東京新都心ライオンズクラブです。新宿消防署、都水道局、NTT東日本などの協力で、防災グッズの展示や給水車の飲料水試飲、消火・救急救命などの体験コーナーもあり、朝から小雨模様で寒い日でしたが、昼頃には雨もあがって、子供連れの若い家族で賑わいました。

東京の会には毎年東京新都心ライオンズさんからのお声がけがあって、ブースが用意されます。昨年、一昨年のように宮城・石巻からの可愛い手作りグッズは並べられませんでした。骨髄移植のパネルを展示したり、骨髄バンクのリーフレット（ギフト オブ ライフ）とキティーちゃんティッシュを若い人達に配ったりして、普及啓発につとめることができました。

テントの中ではライオンズクラブ関係の団体が焼きそば、牛筋煮込みうどん、たこ焼き、焼き鳥、カレー、甘酒、野菜や果物、地酒などを販売するチャリティーバザーがあり、私たちもそれらを買って売りに協力をしました。

ステージでは地元新宿区長さんの挨拶のあと、八王子の高校生による吹奏楽演奏、地元小学生の和太鼓や小さな子供の踊りや歌、お笑い芸人のライブなど色々な催しがありました。

最後にライオンズの代表メンバー10人が並び、その前で被災地からのメッセージとして宮城石巻消防団代表の挨拶があり、地震が起こった午後2時46分、サイレンとともに皆で黙祷を捧げて閉会となりました。

震災から4年たった今でも、避難生活を送っている人は22万9千人にものぼり、復興にはまだまだ時間がかかりそうです。わたしたちも震災の記憶を風化させることなく、復興に少しでも役立つことを息長く続けていきたいと思いながら帰途につきました。

（新田雅子）



# 「スーパーマン」が颯爽と走った東京マラソン!

東京マラソン開催日、東京の会の事務所がある曙橋付近の靖国通りは、大観衆が沿道を埋め尽くし、警備や交通整理の警察官・ボランティアスタッフも大勢配置され、マラソンランナーを今や遅しと待ち受けます。

9時10分都庁前をスタート、その10分後には招待選手から姿を現し風のように走り去ります（その前に車いすランナーが矢のように通り過ぎますが）。9時30分頃から一般ランナーが広い5車線を埋め尽くし、沿道の大観衆も声を張り上げ応援します。

「がんばれよー!」「ペースを守れよー」などの応援の声に「骨髄バンク頑張れ!」との応援も聞こえます。なぜなら、「骨髄バンクにご協力ください」の黄色いたすきを掛けて走っているランナーがいるから。

今年は、10kmの視覚障害者・移植者の種目に、東京の会の宮城順さんと埼玉の会の早川美奈子さん（みいなさん）が参加したので、東京の会として曙橋でのぼりを立てて応援しました。目立つようにと、宮城さんはスーパーマン、早川さんと伴走者はナースとドクターというコスプレ衣装で参戦。たすきも掛け、東京の会が応援している前を元気に駆け抜けていきました。10kmゴールの日比谷公園まで、多くの人に声を掛けられながら、無事に完走しました。（若木換）

いっしょに沿道とゴールで応援をした、千葉の会の河口さんから観戦記が届きましたので掲載します。

## 東京マラソンの応援を振り返って

千葉骨髄バンク推進連絡会 河口郁子さん

2月22日、私が市ヶ谷の駅に辿り着いたのは午前7時ごろ。場所取りが大変だと聞いていたからだ。天気は数日前から雨の予報が出ており、心配したが、偶然にも予報は外れ、少々寒かったがランナーには最適な



スーパーマンじゅん



ナースみいな



骨髄バンク応援隊

曇り空でスタートした。

まず、車椅子の部門が物凄いスピードで駆け抜け、次いで招待選手などトップ集団、市民ランナーと続いた。我々が早川美奈子さん・宮城順さんチームは、市民ランナーグループの中でも早い順位で我々の前を駆け抜けて行った。

応援も東京の会が3～4名と聞いていたが、実に10名程の大所帯となった。我々は「がんばって」「ファイト」「Go Go Go!」など、のぼりは勿論、声でもランナーにたたみかけ応援した。二人の他にも骨髄バンクのタスキを掛けて走っているランナーがちらほらいて、のぼりを見て挙手してくれた。また、一般のランナーの中にも満面の笑顔で応えてくれる人達がいる、やはりTVで観戦するよりも、人対人の息遣いが感じられて、最高の一日となった。

その後、応援隊は10時過ぎに解散。三々五々と所方で散った。私は10kmの部のゴール地点の日比谷公園へ向い、無事、完走した早川美奈子さん、宮城順さん、伴走者の方と落ち合っ、しばし歓談をした。



ゴール地点でピース

患者家族電話相談  
白血病フリーダイヤル

やまい こく ふく  
**0120-81-5929**  
毎週土曜日10:00～16:00

※第2・4土曜日は血液専門医も相談に応じます。  
※医師に言えない悩み事などもどうぞ。

# ピンクの桃の花が満開! 南アルプス桃源郷マラソンで6名が完走

毎年秋に開催される、移植医療を応援するグリーンリボンランニングフェスティバルに、東京の会としてチームで参加したのをきっかけに、ジョギングを始める仲間が増えました。せっかくなので記録の残る大会に出場しようと、毎年4月に山梨県南アルプス市で開催される「南アルプス桃源郷マラソン」に、東京の会のメンバー3名が、昨年初めて参加しました。今年は4月12日に大会が開催され、東京の会からはハーフマラソン3名、10kmコース3名の合計6名が黄色いたすきを掛けて出場し、みごと全員が完走しました。当日は応援メンバーを含めて11名が参加しました。ランナーのうち3名から感想を寄せてもらいましたので掲載します。

## 熱い声援に支えられ走り切りました

保居範昭さん



今年も東京の会、春の恒例行事となりつつある、南アルプス桃源郷マラソンに参加しました。昨年に続き、若木さん、石崎さんと3人でハーフマラソンの部に参加しましたが、今年は櫻井さん、宮城さん、二見さんも10kmの部で参加しました。

当日の走りは準備不足もあり、苦しい走りになりました。ただ、骨髓バンクの黄色いたすきをかけて参加したため、沿道からは、「骨髓バンク、頑張れー!」と声をかけてもらえます。また、最後の競技場前では、東京の会の女子メンバーの皆さんの熱い声援により、なんとか走り切ることができました。

他のメンバーも無事全員完走し、夜は楽しくみんなで大宴会をして、翌日帰京しました。来年もまた、黄色い骨髓バンクのたすきを掛けて、マラソン大会に参加したいと思います。

## 喘ぎながら完走、その後は温泉と大宴会!

若木換さん



好天に恵まれ満開の桃の花がピンクに色づく中、たすきを見た沿道からの「骨髓バンクがんばれ!」の声援を受けながら、登り坂の多いコースを一路ゴールにむけ、喘ぎながらも足を踏み出します。何と、ゴール前には「東京の会女子会」から4名

の応援団が駆け付け、そのおかげもあって全員が無事完走しました。

その後は女子会メンバーと一緒に甲府盆地が一望できる「みたまの湯」に浸かって疲れを癒し、夜は全員完走を祝して大宴会となりました。わたしはヘトヘトでしたが、なぜか10kmの部完走の3名はまだまだ余力があり、二次会のカラオケでも大盛り上がり! 来年は全員ハーフマラソンに参加できる、と確信した夜でした。

## 亀のように休まず走り続けました

櫻井正和さん



マラソンを始めたきっかけは、グリーンリボンランニングフェスティバルに応援ボランティアとして参加したときに、国立競技場を1度走ってみたいと思い、走り始めたのが最初です。

初めて走った時は1キロ行く前に足がパンパンになり、それからが四苦八苦。

1キロ走るまで何ヶ月もかかり、目標の3キロは果てしなく遠かったのですが、昨年のグリーンリボンの大会前に3キロ走れるようになりました。そんな話を若木

### 日本骨髓バンクの登録患者と検査済登録ドナー (平成27年3月末日現在)

	ドナー(全国)	ドナー(東京)	患者(全国)
登録者累計	450,597	57,258	43,984
2-3月登録分	4,059	345	496
2-3月抹消数	3,325	375	—
実質登録増	734	▲30	—

### 患者とドナー登録・適合状況(3月末日現在)

ドナー登録受付者数(累計)	635,075人
ドナー登録抹消者数(累計)	184,478人
HLA適合報告ドナー数(累計)	240,175人
実質登録患者実数(現在)	2,758人(国内1,426人)
HLA適合患者数(累計)	35,764人(患者累計数の80.4%)
非血縁移植実施数	18,063例(2-3月実施219例)

さんに話したら桃源郷ハーフマラソンに誘われました。

それからは小平市グリーンロード21キロを歩いたり走ったり、近所にある多摩湖周りを走ったりしましたが、15キロぐらいで足が止まり、10キロにエントリーすることにしました。高校時代の3年間、多摩湖一周10キロマラソンで、2週間ぐらい足が棒のようになり、階段の上り下りにヒーヒー言った思い出があり、今回その思いを克服する気構えで走りました。

大会当日は最高の天気で、気持ちよく走りたかった

のですが、残念ながら長い登り坂を喘ぎながら走り、それでも何人かを抜くことが出来ました。10キロを一度も休まず亀のように走り続け、完走しました。足は軽い筋肉痛で済んでいます。

走り続けたことで長年の念願だった富士山登頂も去年達成しました。来年はハーフマラソンを走れるかまだ分かりませんが、老骨にむち打って練習を続け、当初の目標であるグリーンリボンランニングフェスティバルの10キロの部に参加したいと思います。



東京の会のランニングコーチ石崎さん



生まれて初めて? 10キロを走った二見さん



オリジナルTシャツで走る宮城さん



沿道ではピンク色の桃の花が満開でした



お疲れ様! ランナーが持っているのは完走証です

## 東京の会 「5月、6月定例会」 のお知らせ

5月23日(土)、6月20日(土) 午後5時30分より

会場: 全労済東京会館3階会議室

※JR新宿駅西口下車7分(新宿区西新宿7-20-8)

※地下鉄丸の内線西新宿駅下車1番出口徒歩2分

青梅街道新宿警察署向かい・「キャン☆ドウ」角入り右側

※7月定例会予定・7月25日(土) 午後5時30分より

## 7月会報発送 「おりおり」のお知らせ

6月の「おりおり」はありません!

発送作業は会報が発行される奇数月のみとなります。

7月4日(土) 13時00分より

※13時までは品川運輸さんが使用されています。13時以降にお越し下さい。

場所: 品川運輸・4階会議室(品川区東大井2-1-8)

JR大井町駅徒歩8分・京浜急行鮫洲駅徒歩2分

※今お読みになっている「東京の会通信」を約1000部折って封入して発送します。簡単な誰にでも出来る作業です。いつも人手が足りません。どうかご協力を。

※2013年9月「おりおり」予定・9月5日(土) 13時00分より

新しい方大歓迎です。お気軽においで下さい。お待ちしております。

## 「マリアナターレ」に感動の再会！ 中澤ナーセリーさんを訪問しました！

20年以上前から始まった東京の会の秋の定例行事「サントフロリアンコンサート」は、一昨年から「バラのかおりのコンサート」に改称して継続していますが、そのネーミングのきっかけとなったのは、2006年のコンサートから会場販売しているバラの花です。4月17日、そのバラを毎回提供いただいている「中澤ナーセリー」さんを、東京の会と千葉の会のメンバーが訪問しました。

今回参加された東京の会の中谷さんと福永さんに寄稿いただきましたので掲載します。



### 中澤ナーセリーさんとの出会い 中谷光子さん



マリアナターレ

今から9年前の2006年、東京市ヶ谷でのサントフロリアンコンサートに初めて中澤様からバラのお花を送っていただきました。今は栽培契約の都合で市場に出回っていない『マリアナターレ』という品種の収益を中澤様が骨髄バンクに寄付されていることを知り、コンサートの出演者に贈る花束にこのお花をお願い出来ないかと中澤さんに相談したことから、東京の会とのおつきあいが始まりました。

初めて『マリアナターレ』を目にしたときは本当に衝撃的でした。花卉の数が多く薄く透き通るように繊細で一つ一つの花が大きく、このような奇麗なバラを

見たことがなかったのです。

その後、マリア様から生まれたという意味の、この美しい品種は姿を消しましたが、他の品種のバラを素敵な花束にして送っていただき、コンサートに来て下さった方に買っていただいています。

いつも電話とメールでやり取りし、お目にかかった事がなかったので一度お会いしたいと思っていましたが、今回やっと念願がかなわず中澤さんご本人にお目にかかる事が出来ました。もう見る事が出来ないかと思っていた『マリアナターレ』も品種保存のために栽培されていて、今回の訪問で見ることが出来ました。昔の大好きだった人に再会した(?)のような気持ちになりました。

中澤様本当にありがとうございました。そしてこれからもどうぞよろしくお願い致します。

### 愛情たっぷりに育てられたバラの花 福永達子さん

4月17日、東京の会メンバー8名と千葉骨髄バンク推進連絡会のメンバー2名の合計10名で、千葉県一ノ宮町の中澤ナーセリーさんを訪問してきました。東京駅から外房線で1時間1分、上総一ノ宮駅に着くと中澤さんが車で迎えに来て下さっていました。

中澤さんのバラ園は400坪もある大きなビニールハウスの中。温度は18度に保たれていて1年中花が咲いており、年間10万本も出荷するのだそうです。バラは長いスタンドの上の石綿で水耕栽培されており、6～



中央が中澤さん。バラを見る目がやさしい素敵な方でした。

### 心のこもったご寄付ありがとうございました。(2015.2.16～4.15)

高木和子さん 5,000円／佐野啓子さん 2,000円／朽崎賢三さん 5,000円／中谷哲郎・光子さん 10,000円  
和泉屋正敏さん 3,000円／柴谷みち子さん 2,000円／円満堂和子さん 2,000円／松下倫子さん 2,000円  
櫻井正和さん 500円／山崎いつ子さん 7,000円／松尾美幸さん 7,000円／内田恵美子さん 20,000円  
衣川千代子さん 3,000円／中嶋一雄さん 12,000円／木村純子さん 10,000円／匿名 5,000円

お寄せいただいたご寄付のうち、会費未納の会員からは会費(年3,000円)を差し引いて掲載させていただきました。

7種類のバラが大切に育てられていました。みんなでそれぞれの花の名前を教えてください、写真を撮ったりしながら栽培にまつわるお話を聞かせていただきました。花を切ると横から新しい芽が出て茎が伸び、2ヶ月に1回ぐらいのサイクルで新しい花が咲くそうです。

東日本大震災の時には多くのスタンドが倒れてしまいましたが、広範囲で放射能の話が出ていたので中澤さんも株の入れ替えなどをすぐに進めていいのかわからず、2年ぐらいは元通りにできなかったそうです。そのせいでバラの花のサイクルもズレてしまい、未だに震災前と同じには戻っていないということでした。そんなお話を聞いて、大変な状況の中でも毎年変わらずコンサートにバラの花を送り続けて下さった

ことに、今更ながら深い感謝の念を覚えました。

愛情たっぷりに世話をしてもらっているバラ達を見ているといつまでも飽きることがなく、その中でバラに目配りしながらお話しされる中澤さんはとても素敵な方でした。ハウスを出て、ご自宅にもお邪魔させていただき、別れ際に「コンサート仕様になりました」と、コンサートに送っていただくのと同じバラの花束をそれぞれお土産にいただいて帰途につきました。

今年も秋のコンサートは「バラのかおりのコンサート」として開催予定です。今日お邪魔して中澤さんとの距離がぐっと近くなり、バラの花への愛おしさが増しました。東京の会一丸となって、ピアノ三重奏の素晴らしい音楽と、もう一人の主役、中澤さんのバラを皆様にお届けできるよう頑張ります！

## 「バラのかおりのコンサート」今年も開催決定！

東京の会の秋の恒例行事、ピアノ三重奏コンサートを今年も開催致します。

祝日の午後、バラのかおりと素敵な音楽のひと時を楽しんでいただけるよう、今から少しずつ準備を進めています。

どうぞお手元のスケジュールにご予定を入れていただければ幸いです。

日時 2015年11月23日(月祝)

14:00開演(13:30開場)

場所 発明会館ホール(地下鉄「虎ノ門」駅 徒歩5分)

出演 三戸 素子(ヴァイオリン)、小澤 洋介(チェロ) 他

料金 前売券 3,000円(当日券 3,500円)

全席自由



去年のコンサートの模様

## 全国協議会設立25周年／骨髄、臍帯血移植3万例突破 骨髄バンクのキャラバンカーが日本縦断中！

4月24日に那覇を出発したキャラバンカーが、5月30日に東京へ来ます！ ぜひ会いに来てください。

<都内における関連イベント予定>

5月30日(土) 骨髄バンク日本縦断キャラバンat東京  
(木場公園入口広場)

5月31日(日) 全国協議会25周年記念シンポジウム  
(早稲田大学国際会議場)

キャラバンカーブログ <http://ameblo.jp/jmdrpc-25/>



### 東京ドナー登録会 予定(5月)

5/13(水) 赤羽駅東口(北区)

# 編集者 雑記



▼NPOなんて信用できるのかとあちこちのネットに書き込みがあり、ボランティア活動の社会的信用を揺るがすようなニュースが新聞紙面に載せられました。「ペットボトルのキャップを再資源化して地球温暖化の原因物質であるCO<sub>2</sub>削減を図ると同時に、再資源化で得た売却益で発展途上国の子供たちにワクチンを贈るという『エコキャップ運動』を行っているNPO『エコキャップ推進協会』が、ワクチン提供活動を実行している『世界の子供にワクチンを日本委員会』への寄付を2年前から停止している。このため、同委員会がNPOに照会したが、回答がされていない」とのニュースが伝えられたのです。

▼エコキャップ推進協会は「キャップの売却益は『障がい者の雇用創出・自立支援活動』に活用した。ワクチンを贈る活動への寄付は寄付先を変更して今後再開する」と発表しました。背景には上記のワクチン提供団体とのあつれきもあったようです。しかしながら、運動を支えてきた全国の小中学校の児童生徒や高校生からは、「いつの間にか『エコキャップ運動』の目的が発展途上国の子供たちにワクチンを贈ることではなくなっていたことを知り、悲しい」との声が上がっているのです。

▼我が国に限らず世界中で、貧困、人権問題、医療問題など政治の隙間に生ずる社会的問題を少しでも解決できたらとの願いを込めてボランティア活動が行われており、その組織形態や活動・財政規模はいろいろです。発起人の呼びかけで数人から十数人のメンバーが集まって目的に沿った活動を行うサークル的な組織から、規約や寄付行為・定款等を用意して会費・寄付金などを集めて地域社会で定期的活動を行う任意団体、あるいは法人格を取得して広域で活動する団体まで様々な形態があります。

▼ボランティア活動の特長はメンバー相互間に上下関係がなく対等であり、並列の組織であることです。ボランティア団体のメンバーはその活動趣旨に賛同して集まってくる人たちで構成され、さまざまな経験や特

技の持ち主がおり、年齢幅も広いのです。代表、事務局長、会計などの役割分担を定め、相互の業務の必要性の連絡・協議・企画と執行、確認のプラン・ドゥ・シーのサイクルにより管理するのが普通のやり方です。また、監事を定めて会計監査、業務監査を期末に実施しているのは整備された組織です。

▼NPOのように法人格を持つ団体では法人の認証を得るため、理事や評議員、監事を置くことが必要であり、定款や寄付行為、諸規則、細則等を制定してメンバーから役員を選任して形態を整えることが求められます。また、事務管理を適確に行うため、事務局を設置し職員を配置する場合があります。法人格取得は少なくとも規模の大きな団体では法人と同じような体裁を整えて組織統治やコンプライアンス確保を行っている組織もあります。

▼ボランティア活動の支援者は多数の善意の人々であり、サポーターや関係諸機関に対する広報活動は極めて重要です。会報による活動状況の広報、理事会や総会を公開で行い、常に透明性を維持することが必要です。エコキャップ推進協会の定款には「障がい者自立支援事業」も活動目的に盛り込まれていたとは言え、「ワクチンを贈る活動」を主目的として運動を推進してきた以上、内部手続きは適法に行ったとしても、外部支援者への事前広報が不備であったとすれば、活動の根幹にかかわる問題として混乱の原因となるのは当然ではないでしょうか。

▼ボランティア団体の特長であるメンバー相互間の関係が対等並列の組織であることが、場合によっては組織のガバナンスやコンプライアンス確保を乱す結果をもたらすことがあります。それはメンバーが担当する役割分担について誤った判断や企画を行い、事前にチェック機能が働かなかった場合です。またあつてはならないことですが、メンバーの一人が故意に不正を働いて個人の利益を図るような場合もありうるでしょう。

▼多くの人達の善意に支えられて活動を行っている私たちボランティア団体としては、今回の「エコキャップ運動」の事例を他山の石として、支援者や関係機関への広報活動、組織ガバナンス、コンプライアンスを適切に行い、社会的信頼を損なうことがないよう一層留意しなければならないと反省の機会を与えられた次第です。(k)

## ボランティアの運動にも資金が必要です。 東京の会に活動資金のカンパを！

郵便振替口座番号 00100-1-555195

他銀行から振込みの場合 ゆうちょ銀行(9900) / 〇一八支店(018) 普通口座No.4180512

加入者名義 公的骨髄バンクを支援する東京の会